第1回福島県県民健康管理調査検討委員会議事録比較表

発言者	事務局修正	事務局再修正	委員修正	当初公開議事録	再公開議事録
冒頭	―	―	（山下座長指摘） 検討会設置の経緯と目的、その上で知事代理で座長が指名されたことを入れてください。5月13日の準備会のことは言及する必要はありませんか？また非公開としたことへの言及は？検討会の位置づけと医大への委託という整理がどこかで必要ではないでしょうか。	（進行） 福島第一原子力発電所事故による県内の放射線汚染を踏まえ、福島県が、県民の健康不安の解消や将来にわたる健康管理の推進等を図ることを目的として実施する「県民健康管理調査」に関し、専門的見地から広く助言等を得るために、「県民健康管理調査」検討委員会を設置いたしました。 座長は設置要綱に基づき山下委員にお願いしてありますので、議事の進行をお願いいたします。	記載削除
山下座長	今回の「県民健康管理調査」は、将来にわたる福島県民の健康管理のプラットフォームになると思う。国が示す工程表とも足並みを揃えていきたい。 ~~本日の第1回検討委員会の開催に先立ち、5月13日（金）に準備会議を開催した。実施していく際に福島県立医大の安村委員の案をご説明願いたい。~~	―	―	福島原発事故から２か月を経過しても、いまだ事故の収束を見ない中で、前代未聞の今回の「県民健康管理調査」は、将来にわたる福島県民の健康管理のプラットフォームになると思う。国が示す工程表とも足並みを揃えていきたい。	今回の「県民健康管理調査」は、将来にわたる福島県民の健康管理のプラットフォームになると思う。国が示す工程表とも足並みを揃えていきたい。 本日の第1回検討委員会の開催に先立ち、5月13日（金）に準備会議を開催した。実施していく際に福島県立医大の安村委員の案をご説明願いたい。
安村委員	~~簡単に案について説明をする。~~（←内容記載）福島県立医大学でも検討中である。国の指定地域になっている市町村すべての人口で考えると最大で20万人になる。子どもや小中高生の検査も必要。個人情報保護にも気をつけなければならない。データは長期保管し、原則本人に返すことを想定。強制ではなく任意調査とする。低線量の曝露は30年、年1回の継続的な評価をきちんと行う。国際的な評価も担保する。問診票については、3月11日以降に住民がどう行動したかが、（線量）推定評価のためのプライオリティが高い。~~県民からホールボディカウンター（WBC）を受けたいという内部被ばくを心配する問い合わせが多いので、まず県民の不安を解消できるようにし、心配な方、検査が必要な方に対応していきたい。~~	―	―	（全県民を対象として基本調査を実施する、避難区域の住民を対象とした詳細調査を実施するとした案についても説明。） 福島県立医科大学でも検討中である。国の指定地域になっている市町村すべての人口で考えると最大で20万人になる。子どもや小中高生の検査も必要。個人情報保護にも気を付けなければならない。データは長期保管し、原則本人に返すことを想定。強制ではなく任意調査とする。低線量の曝露は30年、年1回の継続的な評価をきちんと行う。国際的な評価も担保する。問診票については、3月11日以降に住民がどう行動したかが、線量推定評価のためのプライオリティが高い。	簡単に案について説明する。福島県立医科大学でも検討中である。国の指定地域になっている市町村すべての人口で考えると最大で２０万人になる。子供や小中高生の検査も必要。個人情報保護にも気をつけなければならない。データは長期保管し、原則本人に返すことを想定。強制ではなく任意調査とする。低線量の曝露は３０年、年１回の継続的な評価をきちんと行う。国際的な評価も担保する。問診票については、３月１１日以降に住民がどう行動したかが、推定評価のためのプライオリティが高い。県民からのホールボディカウンター（WBC）を受けたいという内部被ばくを心配する問い合わせが多いので、まず県民の不安を解消できるようにし、心配な方、検査が必要な方に対応していきたい。
明石委員	尿や血液採取なども行っていく。	~~尿や血液採取なども行っていく。~~	―	記載なし	尿や血液採取なども行っていく。
矢島氏（厚生労働省）	~~啓発的意味も含めて、説明書を一緒に提供することが必要と思われる。~~	―	―	記載なし	啓発的意味も含めて、説明書を一緒に提供することが必要と思われる。
伊藤氏（文部科学省）	~~ホームページでの線量評価のサイトも作った。県外の方々をいちいち探し出すのは難しいので、そういったものも活用していくべきではないか。~~	―	―	記載なし	ホームページでの線量評価のサイトの作成も進めている。県外の方々をいちいち探し出すのは難しいので、そういったものも活用していくべきではないか。
矢島氏（厚生労働省）	~~県民は違ったというと不安になる。ワンボイスにすること、説明の資料を同じにするなどの対応が大事。医師会が関わっていただく中でも同じ説明ができるように、放射線の健康リスクなどを皆で情報共有。県は窓口を一つにしていくこと。~~	―	―	記載なし	医師によって説明が違うと住民が不安になるばかりでなく、行政との説明が違うと住民は混乱してしまう。住民への説明はワンボイスにすることが重要で、説明の資料を同じにするなどの対応が大事である。医師会が関わっていただく中で、県や市町村も同じ説明ができるように、放射線の健康リスクなどをみんなで情報共有することが重要であり、県は説明の窓口を一つにしておくことが大切である。

特定非営利活動法人情報公開クリアリングハウス作成

発言者	事務局修正	事務局再修正	委員修正	当初公開議事録	再公開議事録
山下座長	~~これから検討委員会終了後、マスコミの取材を受けることになるが、~~県民へのメッセージとして3点ほど検討委員会の共通の考えとして出したい~~ので、よろしいかお伺いしたい~~。まず１点目は、県民の皆さんが3月11日の大震災以降の行動パターンをしっかり記録しておいていただきたいということ、これをお伝えしたい。次に2点目として、6月末あたりから先行するモデルとして、パイロット的に課題を抽出するための調査を開始すること、どこの地区かどうかなどは未定。3点目に、国や県、医師会などの関係機関の協力のもとで、福島県立医科大学を中心として進めていくこと。	―	―	県民へのメッセージとして3点ほど検討委員会の共通の考えとして出したい、まず１点目は、県民の皆さんが3月11日の大震災以降の行動パターンをしっかり記録しておいていただきたいということ、これをお伝えしたい。次に2点目として、6月末あたりから先行するモデルとして、パイロット的に課題を抽出するための調査を開始すること、どこの地区かどうかなどは未定。3点目に、国や県、医師会などの関係機関の協力のもとで、福島県立医科大学を中心として進めていくこと。	これから検討委員会終了後、マスコミの取材を受けることになるが、県民へのメッセージとして3点ほど検討委員会の共通の考えとして出したいので、よろしいかお伺いしたい。まず1点目は、県民の皆さんが3月11日の大震災以降の行動パターンをしっかり記録しておいていただきたいということ、これをお伝えしたい。次に2点目として、6月末あたりから先行するモデルとして、パイロット的に課題を抽出するための調査を開始すること、どこの地区かどうかなどは未定。3点目に、国や県、医師会などの関係機関の協力のもとで、福島県立医科大学を中心として進めていくこと。